

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 株式会社ADEKA

上場取引所 東

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長 (氏名) 影島 光

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	177,062	6.9	16,693	7.3	17,380	9.0	12,136	9.7
29年3月期第3四半期	165,636	1.2	15,550	4.7	15,943	9.8	11,063	11.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 17,172百万円 (85.0%) 29年3月期第3四半期 9,280百万円 (3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	117.97	
29年3月期第3四半期	107.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	307,863	201,356	62.6
29年3月期	290,485	187,956	62.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 192,817百万円 29年3月期 180,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		20.00	35.00
30年3月期		17.00			
30年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	7.4	21,100	0.3	22,500	3.0	15,400	0.5	149.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	103,651,442 株	29年3月期	103,651,442 株
30年3月期3Q	721,420 株	29年3月期	820,217 株
30年3月期3Q	102,875,089 株	29年3月期3Q	103,238,828 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2017年4月1日から同年12月31日）における世界経済は、先進国を中心に拡大基調を維持しましたが、不安定な政治動向や北朝鮮情勢を巡る地政学リスクの高まりなどにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。国内は、財政、金融等の積極的な経済政策を背景に、企業収益や雇用環境の着実な改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、国内及び欧州市場での自動車販売が堅調に推移し、米国及び中国市場では高い販売台数を維持しました。IT・デジタル家電関連分野は、スマートフォンなどモバイル端末の需要が底堅く推移したことに加え、液晶ディスプレイ関連では大型テレビ・車載用が成長を牽引し、安定した成長が続きました。製パン・製菓関連分野は、安定した国内需要に支えられ、堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画『STEP 3000-II』で掲げた「売上高3,000億円のグッドカンパニー」の実現に向けて、コア事業である樹脂添加剤、食品を中心に成長分野への投資を拡大しています。樹脂添加剤では、生産能力を増強した米国の高機能添加剤及びフランスのワンパック顆粒添加剤の設備が稼働しました。また、三重工場のポリオレフィン樹脂向け高機能添加剤及びタイヤの塩ビ向け安定剤の設備が竣工しました。食品では、シンガポールで加工食品の製造ラインが稼働しました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,770億62百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は166億93百万円（同7.3%増）、経常利益は173億80百万円（同9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は121億36百万円（同9.7%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、1,184億4百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は151億74百万円（同12.3%増）となりました。

①情報・電子化学品

情報化学品は、液晶ディスプレイの高精細化や半導体市場の好調が続くなか、光学フィルムやフォトレジストに使用される光硬化樹脂、光開始剤及びレジスト樹脂の販売が堅調に推移しました。

電子材料は、旺盛なメモリ需要を背景に3D-NANDやDRAMに使用される誘電材料の販売が好調に推移しました。また、プリント基板やリードフレームのエッチング向けに回路材料の販売が国内で堅調に推移しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車などに使われる合成樹脂の生産拡大を背景に、光安定剤、酸化防止剤などのポリオレフィン向け添加剤の販売が国内外で好調に推移しました。また、塩ビ向け可塑剤・安定剤の販売が国内外で堅調に推移しました。

界面化学品は、自動車エンジンオイル向けの潤滑油添加剤の販売が国内外で好調に推移しました。また、塗料・粘接着剤向けに反応性乳化剤の販売が海外を中心に堅調に推移しました。

機能性樹脂は、電子機器の接着用途や自動車の構造接着剤向けに特殊エポキシ樹脂の販売が好調に推移しました。

機能化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の底堅い需要に支えられ、販売が堅調に推移しました。

過酸化水素は、液晶ディスプレイの電子回路用途などに同誘導品が拡大し、販売が堅調に推移しました。

基礎化学品全体では、原材料及び燃料価格上昇の影響を大きく受け、前年同期に比べ増収減益となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、522億7百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は11億91百万円（同31.5%減）となりました。

国内では、製パン、製菓、洋菓子向けにマーガリン、ショートニング類、ホイップクリーム等の販売が好調に推移し、海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの販売が拡大しました。

食品事業全体では、油脂や乳原料などの原材料価格上昇の影響を大きく受け、前年同期に比べ増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ173億77百万円増加（前期比6.0%増）し、3,078億63百万円となりました。

主な要因は、売上債権と投資有価証券の増加です。

負債につきましては、前期末に比べ39億78百万円増加（前期比3.9%増）し、1,065億6百万円となりました。

主な要因は、仕入債務の増加です。

純資産につきましては、前期末に比べ133億99百万円増加（前期比7.1%増）し、2,013億56百万円となりました。

主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の連結業績予想につきましては、2017年11月2日に公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,374	50,072
受取手形及び売掛金	50,250	56,918
有価証券	5,822	7,326
商品及び製品	20,244	22,678
仕掛品	4,707	4,622
原材料及び貯蔵品	16,251	16,734
その他	7,521	7,104
貸倒引当金	△270	△340
流動資産合計	155,901	165,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,354	23,989
機械装置及び運搬具（純額）	26,672	28,385
土地	21,184	21,213
その他（純額）	8,909	10,075
有形固定資産合計	80,121	83,664
無形固定資産		
のれん	89	43
その他	3,892	3,709
無形固定資産合計	3,982	3,752
投資その他の資産		
投資有価証券	42,060	46,607
その他	8,419	8,720
投資その他の資産合計	50,479	55,328
固定資産合計	134,583	142,744
資産合計	290,485	307,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,145	39,204
短期借入金	18,015	16,511
1年内償還予定の社債	8	4
未払法人税等	3,435	1,739
賞与引当金	2,239	1,143
その他の引当金	78	55
その他	10,923	16,609
流動負債合計	67,845	75,268
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	11,467	7,313
退職給付に係る負債	15,910	16,499
その他の引当金	255	261
その他	6,749	6,863
固定負債合計	34,682	31,238
負債合計	102,528	106,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,899	22,944
資本剰余金	19,926	19,993
利益剰余金	124,520	132,777
自己株式	△590	△553
株主資本合計	166,755	175,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,919	12,618
土地再評価差額金	4,276	4,276
為替換算調整勘定	2,604	3,026
退職給付に係る調整累計額	△2,477	△2,266
その他の包括利益累計額合計	13,321	17,655
非支配株主持分	7,879	8,538
純資産合計	187,956	201,356
負債純資産合計	290,485	307,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上高	165,636	177,062
売上原価	124,503	133,454
売上総利益	41,132	43,607
販売費及び一般管理費	25,581	26,913
営業利益	15,550	16,693
営業外収益		
受取利息	192	200
受取配当金	340	414
持分法による投資利益	216	20
為替差益	—	177
その他	395	413
営業外収益合計	1,144	1,228
営業外費用		
支払利息	291	290
為替差損	195	—
その他	264	249
営業外費用合計	751	540
経常利益	15,943	17,380
特別利益		
投資有価証券売却益	150	—
特別利益合計	150	—
特別損失		
有形固定資産除却損	144	188
関係会社出資金評価損	146	—
特別損失合計	291	188
税金等調整前四半期純利益	15,803	17,191
法人税、住民税及び事業税	3,828	4,157
法人税等調整額	202	205
法人税等合計	4,030	4,363
四半期純利益	11,772	12,828
非支配株主に帰属する四半期純利益	709	692
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,063	12,136

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	11,772	12,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,426	3,045
為替換算調整勘定	△5,185	444
退職給付に係る調整額	215	210
持分法適用会社に対する持分相当額	51	643
その他の包括利益合計	△2,492	4,343
四半期包括利益	9,280	17,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,504	16,469
非支配株主に係る四半期包括利益	△224	702

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	109,954	49,476	159,431	6,204	165,636	—	165,636
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	13	131	9,194	9,325	△9,325	—
計	110,072	49,490	159,562	15,398	174,961	△9,325	165,636
セグメント利益	13,516	1,739	15,255	346	15,602	△52	15,550

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△52百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	118,404	52,207	170,611	6,451	177,062	—	177,062
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	103	20	123	10,330	10,454	△10,454	—
計	118,507	52,227	170,735	16,781	187,516	△10,454	177,062
セグメント利益	15,174	1,191	16,365	500	16,866	△172	16,693

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△172百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。